



イノシシ

古来から日本に生息する
ブタの原種

【鼻力（はなぢから）】

イノシシの嗅覚は、犬と同じくらい敏感です。

鼻先を人間の手のように使って

初めて見たモノを調べたり、
重いものを持ち上げます。

ちなみに、ある実験では

「70kgの障害物を、
鼻先で持ち上げた」

という記録があります。



【弱者としての知恵】

イノシシはオオカミや人間に「狩られる側」の動物なので、本来はとても慎重に行動しています。

その一方で、慣れやすいのもイノシシの特徴です。

いちど「安全だ!」と判断すると、物怖じせず
に行動します。



【ずんぐりとした体でも】

時速50kmで走ることができます。

また、前足を使って

150cmくらいの高さの障害物を
乗り越える事もあります。

見た目に反して、
俊敏な動物です。

【“夜行性”はデマ?】

イノシシは基本的に昼間に行動する動物です。

できるだけ人間との遭遇を避けるため、
夜を選んで人里に近づく事から

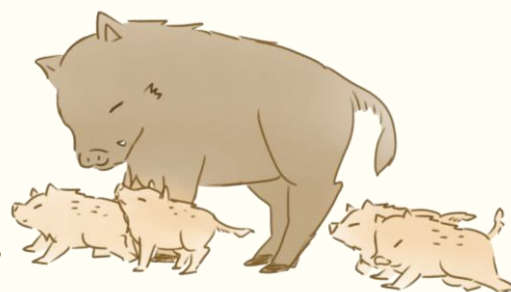
「イノシシは夜行性」という誤解が生まれました。

【驚異の増加力】

メスは1~2歳で成熟し、ほぼ毎年4~5頭の仔を産みます。

その増加率は高く、1年で1.6倍増えると言われており、

環境が良ければ5年で10倍以上に増える能力をもっています。



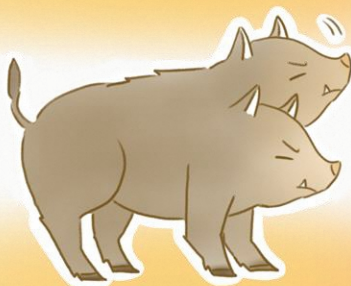
【イノシシの興奮度】

イノシシは基本的に臆病な性格ですが、キケンが迫ると攻撃的になります。出会ってしまった時には、イノシシの様子を見ながら対応する事が大切です。



【毛を逆立てる】

人のことを警戒している状態です。ゆっくり離れましょう。



【頭を振る、鼻を鳴らす】

人に対して威嚇しています。もし近付いてきたら、落着いて道を譲りましょう。



【歯を鳴らす、地面をかく】

興奮して危険な状態です。すぐ隠れるか、防御姿勢を取ります。

【イノシシが落ち着いているとき】

・刺激しないで、ゆっくり距離を取る

叫んだり、攻撃するのはやめましょう。落ち着いて距離を取るのが鉄則です。

ただし、イノシシが**進もうとしている方向**に**人がいる**と、イノシシが突進して押し通ろうとする事があります。

イノシシが進もうとしている方向を自分が塞いでいるなら、横にどいてあげるようにしてください。

・高い場所に登る / 物陰に隠れる

イノシシが襲ってきたとき、確実に身を守る方法は**高い場所に登る事**です。

登れる場所がなければ、イノシシがまっすぐ突撃できないよう、**物陰に隠れて**ください。

車に乗っていたなら、そのまま静かに停車し、イノシシをやり過ごしてください。

【最終手段は防御姿勢！】

興奮したイノシシが至近距離にいるときは、**防御姿勢**をとりましょう。手で頭と首を守り、身体を丸めて急所を隠します。



しかし、最善の対策は「**遭わない事**」。**事前の対策**を徹底し、イノシシに遭わないよう十分注意してください！

「事前の対策」って？

ご家庭の近くを「**動物が好まない環境**」にする事が大切です。果樹や生ごみの処理を徹底し、見通しの悪いヤブを刈り払いましょう。

イノシシが出そうな場所に行くときは朝・夕方の単独行動を避け、音を出してイノシシに自分の存在を知らせながら歩きましょう。

イノシシにエサを与える行為は、絶対に行なってはいけません。

・このニュースレターは自由にご利用いただけます。
(プリントアウト、コピー、無料配布 可)

・こんなグッズがあると嬉しい。こういう活動をしてみたい。皆様からのご意見も募集中です。

制作：NPO法人新潟ワイルドライフリサーチ 編集部

〒940-0864 新潟県長岡市川崎4-253-5

TEL：070-4106-4883 E-mail：info@wironkemono.com